



発行所  
 (株)日本設備工業新聞社  
 東京都渋谷区桜丘町10-13  
 〒150-0031 野元第1ビル  
 電話 (03) 3496-4774  
 FAX (03) 3464-1884  
 info@setubikogyo.co.jp  
 (購読料郵税共) 年額8,000円



# フルプラン見直し

## リスク管理型の水の安定供給へ

国土審議会水資源開発分科会(分科会長・沖大幹東京大学生産技術研究所教授)が三月六日、東京・港区のAP新橋虎ノ門会議室で開かれた。昨年五月の国土審議会を踏まえ、これまでの需要主導型の水資源開発から大規模な災害、事故、気候変動に対応したリスク管理型の水の安定供給へ水資源開発基本計画(フルプラン)を抜本的に見直し、ハード・ソフト対策の連携による全体システムの機能確保へ水道施設の耐震・老朽化対策などを推進していく。

## 耐震・老朽化対策など推進

フルプランは水資源の確保はおおむね達成された総合的な開発・利用の基となる計画。利根川・荒川、豊川、木曾川、淀川、吉野川、筑後川の全川、水インフラの老朽化に伴う大規模な事故、気候変動による大規模な渇水。予定された開発水量の確保はおおむね達成された総合的な開発・利用の基となる計画。しかしその一方で地震災害による水供給の停止や水インフラの老朽化に伴う大規模な事故、気候変動による大規模な渇水。予定された開発水量の確保はおおむね達成された総合的な開発・利用の基となる計画。



国土審議会の答申では新たなフルプランのあり方として①水供給をめぐりリスクに対応②水供給の安全度を総合的に確保③既存施設の徹底活

## ろ過・紫外線設備を位置づけ

## 厚労省 検討会 クリプトスポリジウム対策



厚労省は三月七日、東京・市ヶ谷の日本水道協会で平成二十九年(2017)度第一回「水道における微生物問題検討会」(座長・秋葉道宏国立保健医療科学院統括研究官)を開き、クリプトスポリジウム等対策指針の見直しへ検討を開始した。レベ



ル4に分類される原水への対応策として給水栓における濁度の水道水質基準(二度以下)を満たすことが可能な急速ろ過・緩速ろ過・膜ろ過などのろ過設備やクリプトスポリジウムなどを不活化させる紫外線処理設備を新たに位置づける方針だ。クリプトスポリジウムは耐塩素系病原微生物で人間を含む脊椎動物の消化管などに寄生する。種と宿主の組み合わせによってはクリプトスポリジウム症を引き起こし、致命的になる場合もある。当日の検討会では厚労省の是澤課長が「水道ビジョンでも重要課題として掲げられている安心・安全の実現に向けて皆さまのご意見を賜りたい」と述べ、座長に秋葉氏を選出した。平成十九年三月に策定した「水道におけるクリプトスポリジウム等対策指針」ではクリプトスポリジウムなどによる汚染の恐れを四段階に区分し、予防対策として



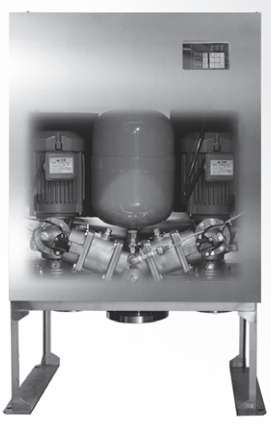
の連携による全体システムの機能確保——などを提言。とりわけ危機時における必要な水の確保、水供給の安全度の確保、水供給バランスの評価、改築事業の包括的検討、水循環政策との整合などの取り組みを重点課題として明示した。水資源開発分科会では答申に基づきフルプランの具体的な見直しに着手する。特別委員として増子敦東京水道サービス(株)社長、滝沢智東京大学大学院工学系研究科教授、古米弘明東京大学大学院工学系研究科教授らが名を連ねている。当日の分科会では黒川純一(良国土交通省水管理・国土保全高水資源部長)が冒頭あいさつに立ち「フルプランによる開発水量はこれまで

で予定通りの成果を達成してきた。ところが気候変動に伴う渇水、大規模災害の発生、既存施設の老朽化という三つのリスクが浮き彫りになっている。皆さまのご意見をフルプランの見直しに反映させていきたい」と述べ、活発な審議を促した。

検討課題のうちハード対策では施設の二重化、連絡管の整備、ダム群の連携などの取り組みを推進する。また耐震対策や維持補修・老朽化対策を通じて耐震率や更新率の飛躍的な向上をめざす。ソフト対策では危機時に備えた事前対策として災害時相互支援協定の締結、災害対応マニュアルやBCP(事業継続計画)の策定、資機材の備蓄、給水車の配備、給水拠点の整備、地下水・雨水・再生水など代替水源の確保、施設の長寿命化計画の策定、水資源の大切さや防災に関する教育・啓発活動などを行う。

レベル3(地表水以外)とレベル4(地表水)で施設整備を求めている。レベル3ではろ過地・ろ過膜の出口の濁度を〇・一度以下に維持すること、あるいは紫外線処理設備の設置のいずれかを優先する。レベル4では濁度管理による安全性の確保を基本としてろ過地などの出口の濁度を〇・一度以下に維持するよう定めている。

## 高効率を追求するテラル テラルの新コンセプト「Triple e」による キャビネット型加圧給水ポンプユニット



発売予告  
 推定末端圧力一定  
 給水ポンプユニット  
**CXV型**

省スペース  
 25%<sup>\*</sup> 設置面積  
 業界最小!  
 ダウン(当社比) (2017年4月現在当社調べ)

23dB 静音  
 省電力  
 優れた施工性

- 屋外設置可能
- 低振動
- 充実の標準装備
- 安心・安全機能

テラル株式会社  
 www.teral.net

本社 / 〒720-0003 広島県福山市御幸町森脇230  
 TEL.084-955-1111 FAX.084-955-5777  
 東京支社 / 〒112-0004 東京都文京区後楽2丁目3-27テラル後楽ビル6階

東京・大阪など  
 全国9支店、  
 47営業所